

久世駅CLTモデル建築物(仮称)に係る意見交換会 久世駅前をどんな広場に？



写真上：自分の意見を付箋に書き出し、話し合う参加者。
写真左：設計コンペで最優秀作品に選ばれたトイレの完成模型。

市政トピックス TOPICS

久世駅トイレの老朽化に伴い新たに設置する「久世駅CLTモデル建築物(仮称)」のデザインが8月29日に決定し、9月13日、市役所本庁舎で、より良い施設にするための意見交換会が開催されました。この施設は、いつでも自由に見学できるCLTモデル建築物として、さらには久世・勝山・落合をつなぐサイクリングロードのターミナル施設として位置付けるなど、さまざまな用途での活用が期待されます。

北房小学校・子ども園制服選定投票 新しい制服を保護者投票で

北房小学校と北房子ども園が平成30年4月に開校・開園することに伴い、新しい制服を選定するための保護者投票が行われました。投票は、8月26日～28日の3日間、北房文化センターで行われ、会場には、小学校の制服が6候補、子ども園の制服が4候補並び、訪れた北房地域の保護者らは、デザインや素材、機能性、金額などを確認したり、子どもの意見を聞いたりしながら投票していました。



並べられた小学校の制服を確認する参加者



協定締結後、協定書を手にする太田市長と斉藤育子学長

山陽学園大学・短期大学との協定締結 教育・まちづくりの協定

8月23日、山陽学園大学・山陽学園短期大学との連携協力に関する協定締結式が市役所本庁舎で行われました。協定は、相互に連携して人材育成を進め、同大・短大の持つ専門知識を活用し地域振興を図ることを目的としており、市内で同大教授らによる市民を対象とした公開講座などを行う予定。その他、学生がフィールドワークの場として市内を訪問することなどを想定しています。真庭市と大学の協定は6件となりました。



市政に関する動きの一部を紹介します

8/31 真庭を最重要拠点に

真庭産業団地への進出を決めた運送業の池田興業(株)(北九州市)と県、真庭市の立地協定式が市役所本庁舎で行われました。同社の事務所と倉庫は11月に着工し、来年6月操業予定。5人を新規採用する予定です。



9/10 企画展「四ツ塚古墳発掘100年」(~11/27)

蒜山郷土博物館で、国指定史跡・四ツ塚古墳群の企画展が開かれています。普段非公開の古墳石室を見学する催しもあり、訪れた人たちは展示や古墳を見学しながら、遙か遠い時代に思いをはせていました。



市長室から こんにちは!

真庭なりわい塾への期待

市民の皆さん、「真庭なりわい塾」って、ご存じですか。塾を紹介しますと、中和地域に通って(1泊2日、全9回)農山村暮らしを学び、新たな生き方、働き方を考え、模索しようとするものです。塾長は、世界を歩き環境問題に取り組んできた農学博士の渋澤寿一先生。

全国から応募があった67名のうち、25名の方に入塾して貰いました。自己紹介冊子を拝読すると、持続可能な社会を目指すこと、お金ではない価値観を持つこと、真の豊かさの追求など、皆さんが素晴らしい問題意識を持っています。

経歴を見ても、海外経験豊富で国際性を持っている方、多方面の経験や職場を経ている方など、実に魅力的な歩みをしています。

このような方々に、この塾で更に自分を磨き成長し所期の思いを達成してもらおうよう熱望します。加えて、この中から真庭市民になってくれる方が出ればという願いもあります。

塾生の皆さんと、人生、仕事、真庭について熱く語り合う機会を楽しみにしています。



市長と意見交換する参加者

市長と話そう 移住したから分かること

太田市長と市民が直接対話する「市長と話そう」が、8月30日、塩釜冷泉近くの「冷泉山荘」で開催されました。参加したのは真庭市北部エリアに移住して農業や特産品開発などの活動をしている方とその活動をフォローしている地域おこし協力隊。参加者は、「移住者や移住希望者も安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、自分が移住してきた動機や移住してきて良かったことなどを踏まえながら意見を交わしました。



沐浴の方法を習う参加者

子育て支援サポーター養成講座 10月から派遣を開始

9月2日と12日の2日間、落合総合センターで「子育て支援サポーター養成講座」が開催され、市内の主婦ら約20人が受講しました。この講座は、真庭市子育て世代包括支援センターの主催で妊娠期から産後1年未満の妊産婦とその家族を対象とし、家事や育児など必要な支援を行うサポーターを養成するため今年初めて開催しました。参加者は、業務に必要な基礎知識や技能を真剣に学んでいました。